

《入選》

人権を大切に

稲枝中学校 3年

辻 昂希 さん

「人権」とは何か、僕は、小学生の時から大きな疑問を抱いた。ニュースで、「差別をなくし、一人一人の人権を大切にしていかなければならない。」と報道されているが、僕自身は差別を受けたことがないため、どうやってその人たちとの思いによりそい合うべきか分からなかった。しかし、僕は、ある方の説明を聞いたことで、「人権」を尊重していかなければならないということに気付くことができた。

僕は、かつて市内の中学校の校長先生を務めておられた先生が、「人権」と「差別」

というものは一体何か説明してくださった。先生は、「住んでいるところや人種などに関係ない、あなたはあなただ。」「差別に気づくことが大切だ。」という言葉を僕達に教えてくださった。今、問題となっている「部落差別」の問題や、人種差別などすべては一切関係なく、男女ともに平等な社会で生きていくことが大切であると、僕は先生の説明を通して、そう考えることができた。また、先生の説明だけでなく、僕の父や母が僕にこう教えてくれた。

「一人一人が持っている人権を大切に、尊重していくことは難しい。そのためには、自分にとって嫌であることを他人にしてはならない。自分だけを考えるのではなく、他人の気持ちを考え、行動できるような人になってほしい。」僕は、先生だけでなく、両親が言った言葉も「人権」とは一体何なのかを考えることができた。「自分にとって嫌だと思いうことを他人にしてはならない。」という言葉は、小さい頃から言い聞かされていたが、あまり深く考へることがなかった。しかし、今回の人権学習でこの言葉が「人権」を守ることができ、キーワードだと言うことに気付いた。

また、僕達が習った歴史の教科書に、「世界人権宣言」と呼ばれる、国際連合の発足に作られた構文で、その中の第一条の文にこう書かれていることに僕は気付いた。「すべての人間は、生まれながらにして自由であり、かつ、尊厳と権利とについて平等である。人間は、理性と良心とを授けられており、互いに同胞の精神をもって行動しなければならぬ。」つまり人間の生命は人権そのものであり、それを侵害する人はその人の生命を奪っているという意味だと考えることができた。

今回、人権学習を通して、自分たちが生きる社会で「人権」というものは、他人の命であり、それを大切にすることは、その人の命を助けることができる。つまり、人権は守っていかなければならない大切な命であることに気付くことができた。そして、それを自分自身だけで行動するのではなく、周りの人たちとともに考え、行動を大きくしていくことが本当の人権を守ることにつながると考える。

僕は、両親と先生が言った言葉を大切にしていき、本当の人権について、友達とともに考えていきたいと思う。